

『シリア難民はなぜドイツを目指す』（八期討論会）



八期のみなさん。大石ですこんにちは！

5日に城山観光ホテルで全校同窓会が開催されました。

800名近く集まったようですが結局は八期のテーブルだけの会話—それも隣近所との会話が殆んど—なので、太鼓のアトラクションで気が立ってしまいそうでした。こういう会は仲間と「じっくり」に限ります。

仲間と言えば、中間くんがこの夏、またドイツに長居をしていたようで、記念誌の続きを送ってくれました。

羨ましき人生かな（お子様がドイツにおられるとか）こちらはいくら気儘に生きていと思っても、人生思うままにはいかないものです。

今年の天候（もう毎年そう言うようです）は異常ですね。日本国中年がら年中何処かの地方で落雷・竜巻・水害に見舞われます。桜島の警戒4など可愛いものです。

今年の夏はこちらでは例年がない『大人しい桜島』です。昨年までは噴火の響きで窓がばりばり振動がしました。

仰ぐとあごが上がるほど噴煙をあげていました。世間（報道）はあまり騒ぎませんでした。鹿児島市民は今年ほど静かに、ほっとしている夏はありませんでした。

こんの状況を「嵐の前も静けさ」の時期と言う人（専門家も）がいます。

箱根も桜島も経済痛手は計り知れないものです。でも……こう言う予知を否定するものではありませんが。

そんなことより、今、一番悲惨なのはシリアを始め中東の難民たちと、その受け入れ側の西欧の国の問題です。

こんな時にこそ、そう「今です」。安倍さんは世界に向けて救援の為の「なにがしかの」コメントを出して欲しいものです。なんでもかんでもお金でごまかさないと、人道をお金だけで解決しようとしてはなりません。



●Mr. Ohishi から飛んでくると予感あった表題ボールをキャッチ。返球を記してみます。 中間一範

大概是、日本特派員等スタッフからの当地メディア報道や取材した内容の伝えで、ご承知のことと思われませんが、まずは、何故にドイツはこの難民受け入れに寛大なのかについて、これは、ドイツ基本法（憲法に相当）に則り、ナチス時代のユダヤ人迫害（排斥）への反省から、「難民庇護はドイツ国の義務」という解釈でもって寛大な難民受け入れ政策をとってきたのが所以とされ、メルケン首相は、難民問題は欧州にとってギリシャの財政問題の救済よりも重要になると、強い危機感を示しています。

そんなわけでメルケン首相は、EU加盟国（国数27か国、ユーロ導入は16か国）で難民受け入れの「公平な割り当て」<現時点での割り当てはドイツを頭に、フランス、スペインの準で続く>が必要だと主張し、仲良しのフランスなどの協力を得て実現を図るべく、近々にEU法相・内相理事会と首脳会議で話し合うことにして、経済水準が低い国もあり、欧州へ流入する迫害から保護すべき難民（2015年だけでも約80万人の難民が流入するとの予測）と、就労目的の不法移民（数字の予測は無し）の選別策の問題もあり、人権重視の理念を掲げる欧州連合（EU）が加盟国間で重荷を分担し、円滑な受け入れ体制を整えることができるのか、今後の成り行きが注目されています。

一方では、ローマ法王が、バチカン日曜恒例の祈りの集会で、欧州に押し寄せている難民について、欧州全ての教区、修道院、教会は、それぞれ1家族？を受け入れてほしいと呼びかけたニュースの報道もあります。

ドイツ国は、難民申請者1人に対して、申請中の食費、宿泊費、医療費、毎月の手元金等、年に1万2000ユーロ（約160万）ほどの費用がかかることになると予測。独紙の算出では、移民流入による今年の負担予測はおおよそ1兆3200億円にのぼるそうで、メルケン首相への風当たりがないわけではなく、首相も懸念するところのようです。

この難民申請者への生活費支給など手厚い保護も一因で、難民の殺到を招いていることに対して、市民感情は、多くを抱えすぎると職を奪われかねないので制限すべしとか、難民者厚遇の反感や風貌の異なる人々の急増で対応を間違えると居住環境が悪化するなどの意見もある中、どちらを向くかという、ドイツ国に負担のしわ寄せは「誇りに思う」という多くの支持があるのを見ると、ドイツの失業率は、現在東西統一以降で最低水準となっていて経済的に堅調なことに加え、人道的見地からも賞賛したいという思いを持つ方の意識も多く、これは歴史的背景からきているのかも知れません。

また一方では、ドイツでの難民保護をめぐっては、今に始まった人道的な責務以外に、根底に急速な高齢化と出生率の低下により優秀な人材が徐々に減少し始めていることで、将来を見据えた人材の確保といった側面で、産業界からも受け入れに前向きな姿勢が伺えて、ドイツ経営者団体連盟（BDA）の推計によると、エンジニアやプログラマー、技術者などが10万人を超えた人員が不足している他、医療従事者やレジャー産業でも人手が足りない状態が続いているとのデータがはじき出されているとのことです。以上簡略ながらこの辺で了とします。

ご参考までに次ページに、おそらくまだ報じられてないニュースを日本語で添付します。

2015-9 初 ドイツから 中間 記

地元紙からのピックアップです (2015-9-7)

＝難民対策に60億ユーロ＝

ドイツ政府、追加拠出を決定。

ドイツ政府は、6日夜、難民対策に60億ユーロを追加で拠出することを決めた。ただし亡命申請者に対する現金支給を削減するほか、西バルカン諸国を「安全地域」に認定し同地域からの亡命申請者の送還を加速させるとダウ・ジョーンズなどが伝えた。

ハンガリーからオーストリア経由でドイツにたどり着いた難民は、5～6日だけで約1万8,000人に上り、今年の難民受け入れ規模は、80万人（これは先の報道に同じ）に達すると予想され、対応が迫られている。

政府は、60億ユーロのうち30億ユーロを難民の受け入れセンターや住宅の整備、現金などの支給に充て、残り30億ユーロを地方自治体に難民関連費用として提供する。警官の増員や難民向けドイツ語教育などへの予算も増やす一方で、新たな亡命申請者に対しては現金支給を削減し、できる限り現物支給に切り替える。また、従来の最大6カ月の前払いを1カ月に制限する。

他方では、西バルカンのコソボ、アルバニア、モンテネグロの3カ国については「安全地域」と認定する法改正案を提示しており、同地域からの亡命申請者の審査期間を短縮する方針。今年上半期（1～6月）にドイツが受理した亡命申請の約46%は同地域の出身者だが、認定されるのは0.1～0.2%にすぎないという。

なお欧州委員会は、ギリシャやイタリア、ハンガリーなどに押し寄せている難民について、9日にも加盟各国に約12万人の受け入れを割り当てる予定。



●昨夜は9時30分には寝たので、今朝は5時30分には起床し新聞に一通り目を通したところです。

中間くんの解説は、ドイツがナチス問題の反省などが難民受け入れの大きな要因になっているのではないかなど歴史的な反省から過去を忘れない大きな見地から今回の行動に出ているということで、日本人の私たちにも大きな教訓になりますね。

また、新しいニュースの部分でも「人材」の問題も内包されているようにありますが、これも日本も近い将来の人口減によるそのような懸念がある中で、日本も考えなくてはいけない問題でしょう。

昨日の南日本新聞の「南風録」によれば、日本は昨年5千件の難民認定申請に対して受け入れ決定は11件のみとあります。

日本政府は島国とはいえ、狭量すぎますね。なぜ一つの方向にだけ突っ走るのでしょうか。

諸条件が違うので一概には言えないものの懐の深いドイツを中心とするEU諸国のいいところを見習うべきだと思いますがどうでしょう。

鹿児島市 くまもとたつお



●大石さんこんばんは。ずいぶん 過ごしやすくなりました。

9月に入り、日照時間 例年の半分 30時間足らず 生鮮野菜などの値上がりが気になります。

台風18号 名古屋湾から日本海へ この影響で 北関東 東日本が大雨で 川が氾濫し大きな被害が出ています。

今日の午後 テレビは ほとんどの局が堤防決壊し、家が流される様子が 実況放送されていました。自然の驚異 凄いのですね。

さて、シリア難民 ドイツ受け入れの記事の記事についての意見ですがこの問題は 先日 地中海 水際の 幼児死体から急に世界的ニュースになってしまったようです。

日本では 安保法制成立の方が 関心いっぱい。安倍政権も あまり関心を寄せていない気がします。

避難民支援については 今年2月 安倍首相が中東訪問時 イスラエル国旗の前で 避難民の支援をすると宣言され それ以降は 目立った発言 動きはニュースとなっていない感じです。

避難民支援 ベースキャンプ での支援が 念頭にあり 今回は ベースキャンプでは 将来のことを考えると新しい国を求めて移動がはじまった感じです。

資金力のある人 特殊な才能を持っている人たちは 近くの中東諸国に脱出をはかり。会社を設立したり、新しい職場で生活している人も いるとか 記事が出ていました。今回の避難民 受け入れは 何百万とか すごい人数です。ヨーロッパで 全部引き受けられることができるか 疑問です。日本は 同盟国のアメリカの動きに同調しているような気がします。アメリカが 具体的なことが出してくると反応してくると思います。

アメリカは 避難民を受け入れています が 積極的に拡大していこうという姿勢ではない、なぜかという9.11以降 テロを恐れている。ドイツ、フランス、イギリスなど ヨーロッパの国々が積極的に対応している感じがします。避難民の受け入れ 積極的にやり、その後 IS(イスラム国)に対し 空からの攻撃に踏み切る動き出てくるようです。

シリア政権にロシアが援助物資が空輸されたとかややこしくなりそうです？

(* 安倍首相がイスラエル国旗前での発言 私は対中東アラブ諸国には決して良い対応ではなかったと思います。

アメリカ向け？ これで日本人の中東アラブ諸国でNGO活動には悪い影響でなければ・・・と思います。アラブ諸国とアメリカの関係は感情的あまり良くない。

日本人には 好意的に受け入れられており、いろいろと活動がやりやすかったと言われていました)今の中東 IS(イスラエル国)の問題の根源はアメリカの中東政策失敗によるものと思います。

イラクが 核を保有しているということで攻撃したが 見つからなかった。中途半端で 撤退し、残した武器が 反体制側に渡ってしまった。シリア問題も オバマ政権はシリアのアサド政権打倒を掲げてきたが、当面はアサド政権の存続を容認するという方針に転じたようだ。

アサド政権の指揮下にあるシリア政府軍が同国内を拠点とするIS(イスラム国)に打撃を与えることを期待したが、自国民が化学兵器を使ったとして国際的に非難を浴びてきた同政権を延命することに対し、非難が高まる可能性あるが ロシアが支援問題もありすぐに解決には難しく中東アラブ諸国問題はオバマ政権は世界の警察といったいろいろな問題に対処していくことは本人も思っていないようだし、もう 問題を解決することはできなくなってきており、そこで 日本の同盟関係を強化し、日本にも協力させることを安倍政権は承諾し、政権運営を進めていくように思われる。

IS(イスラエル国)は 将来 自分らで シリア、イラクの中に 新しい国を造ることを目標にしており、いろいろな問題を解決していくには 非常に難しいと思われる。国ではない、イスラム教スンニ派過激組織であることもあり、交渉解決していくこともできない。という ことのようにです。

私は中東アラブ諸国と商売の経験ありますが、信頼に足る人は少ないように感じます。

契約は守らないし、何か問題起これば インシャッラー(神のみぞ知る)といって、自分では何もできないという考えがあり、商売にも利用する輩もいます。

イスラム教にはスンニ派とシーア派があり、これが敵対関係であるかと言ったら そうでもない場合があります この見極めが大変重要なポイントであるようです。

生駒市 木場 祥雄

◎八期ではないある友人からの意見も載せてみます。



●なぜ、そうした質問を僕にされるのかわかりませんが、僕は、これから起こり得る朝鮮半島有事の際の難民と重ね合わせて考えます。

すると、遠いヨーロッパのことでなく、身近な問題であることがクローズアップされます。既にコリア・レポートの辺真一編集長が「朝鮮半島有事、北朝鮮有事の際の難民は？」というタイトルで優れたレポートを書いています。

ネットで読めるので、それを一読ください。

それと、シリア難民に冷たいハンガリーなどの国を非難するような風潮には賛成しがたいです。

難民受け入れに積極的な国は、自国の国民の職が奪われ、権益が低下するというジレンマも抱えることになるでしょうから。日本が直面したとき、日本政府はどのような反応を取るかにも関心があります。人道支援という言葉だけでは片付けられません。

また、全く次元は違いますが、663年の白村江の戦いにも思いを馳せますね。

朝鮮半島の白村江で起きた日本・百済の連合軍と唐・新羅の連合軍との戦いです。

百済はこの戦いで滅亡し、3000人の帰化人が優秀な土木技術や農耕技術を日本に伝えたと言われてます。宮崎県旧南郷村には、百済王伝説を基にした「百済の里」があります。ここに朝鮮半島から来た留学生や朝鮮半島系の中国人を連れて行けば、非常に喜ぶますよ。途中で若山牧水の生家がある旧東郷町も通ります。大石さんは既に行かれたかもしれませんが...

以上、質問の趣旨がわからなかったため、大ざっぱに記しました。



●帰国直前の中間一範くんからホットなニュースが入りました。

2014/9/10 ドイツから最新記事抜粋 中間

「難民対策 欧州委見解」ニュース州委、難民 12 万人の割当発表⇒ 受け入れ拒否国には制裁も

欧州委員会は9日、中東やアフリカからギリシャとハンガリー、イタリアに到着した難民 12 万人の欧州連合(EU)域内への移住に向け、加盟各国への割当数を発表した。同委は5月にも難民4万人の域内移住を決めており、これに追加する形となる。ただ、一部加盟国は割当制度に反発しており、計 16 万人の受け入れ先決定にはなお時間が掛かる見通し。

欧州委は割当数の受け入れを拒否した加盟国に制裁金を科す方針を示している。

今回、移住の対象となるのは、ギリシャにいる難民5万 400 人と、ハンガリーにいる難民5万 4,000 人、イタリアにいる難

民1万5,600人を合わせた12万人。これを、加盟各国の人口や国内総生産(GDP)、過去の難民申請件数、失業率から算出した割当数に基づき、移住させる。割当数が最も多いのはドイツで3万1,443人。これにフランス(2万4,031人)、スペイン(1万4,931人)が続く。対象者の多くはシリアやイラク、エリトリアからの難民という。

ドイツは割当制度を支持しているが、チェコ、スロバキア、ポーランド、ルーマニアはこれに反対している。

欧州委は受け入れを拒否した加盟国に、GDPの0.002%の**資金拠出を義務付ける**方針。なお、英国とアイルランド、デンマークの3カ国は、難民受け入れに関するEU法で参加を義務付けられていないため、割当は行われていない。

欧州委は併せて、アルバニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、コソボ、モンテネグロ、セルビア、トルコの7カ国を新たに「安全国」と認定し、これらの国の出身者の申請手続きを迅速化する方針を示した。

また、難民と認定されなかった場合の早期帰還を促す措置を強化する。さらに、アフリカで難民流出の原因となっている諸問題を解決するため、18億ユーロの信託基金を創設する。

EU加盟国は14日に開かれる臨時内相会議で今回の提案について協議する。欧州委のユンケル委員長は、「受け入れ対象となる難民の数は、EU人口の0.11%に過ぎない」とした上で、「今度こそ全加盟国が計画に参加することを願う」と話している。[EU規制]



●昨日、9月10日の南日本新聞より。

シリア難民 米1万人受け入れへ

【ワシントン共同】

オバマ米大統領は、シリアなどから欧州に大量流入が続く難民問題に関し、2016会計年度(15年10月〜16年9月)中にシリア難民1万人を米国に受け入れる準備を進めるよう政府の関係部に指示した。アーネスト大統領報道官が10日、記者会見で明らかにした。


受け入れ規模を大幅に引き上げる方針を明確にした。

アーネスト氏は会見で、1万人の受け入れは「大幅な規模拡大」と強調。同時にオバマ氏は「国際社会が米国に追従することを望んでいる」と述べ、各国の積極的な取り組みに期待を示した。日本への国際的な受け入れ圧力が強まる可能性もある。

米国がこの4年間に受け入れたシリア難民は今月末までに約1800人。深刻化する難民問題への関与に消極的だとの批判を受け、

ケリー米國務長官は9日、年間7万人が上限となっている米国の難民受け入れ枠を16会計年度中に拡大する方針を表明。しかし、一部の米議員はシリアなどを拠点とする過激派

テロへの脅威と不安



9

この後に書いてある続きの文章は以下です。

……過激派組織【イスラム国】の要員が難民を装って米国に流入する可能性がある」と難色を示しており、全体の増加幅は流動的だ。

米政府高官は、受入れ拡大を決めたシリア難民についても、身分証明などに半年から1年を要するとしている。



●大石想:上の新聞ニュースと木場くんの意見を再度、読み返して見ると何かが浮かんできます。

おそらく政府は難民受け入れに「反対はしない」が条件(特にアメリカに追従した)をつけるでしょうね。そうして取り敢えずは無難な金の捻出(援助と言う形で)ひとまず矛を収めるのではないかと思います。今までのイラクやアフガンでの国連軍への協力問題とは違いアメリカはもちろん、肝心のEUでさえ一枚岩ではない今回の『難民問題』はそれほど各国からの非難はないでしょうが、いつも思うのですが日本の(特に政府の)とる態度はいまいち一歯がゆい感じーは否めません。



●12日に上の記事を書いている時生駒市の木場くんから以下のコメントが届きました。

・・大石さん今日は

10日に返信しましたが その2 として 今後 ヨーロッパでテロの脅威が増してくるのではないかと懸念されています。

欧州で、今回 トルコの海岸にシリア難民の男児の遺体が打ち上げられた写真をきっかけに、難民受け入れの機運が高まった。もちろん難民支援は 国際的に大切なことですが、今回は大きな危険と隣り合わせになっているのが現状のようです。

西欧諸国をめざす難民や移民の「通過国」となっているマケドニアの外相は10日、越境してくる人々を阻止するためのフェンス建設を検討していると表明の記事がありました。

ギリシャ国あたりも 国自身が 大変な状況に有り その上に難民が押し寄せてきている状況で 大変なことになっていると思います。

シリアなど中東から16万人もの難民が欧州に殺到し、新たなテロ懸念が生まれている。

海から、陸から、次々にやってくる難民一人一人の素上や身元を確認していくことは事実上、不可能。 戦闘員たちが紛れ込む余地は十分にある。英国の新聞のタブロイド紙にも、この問題を大々的に報道している。

IS(イスラム国)のスパイが明らかにしたところによると4,000人以上の戦闘員が欧州に入り込むことに成功したようだ」と報じている。これが本当なら大変なことになる。

日本の「現代イスラム研究センター」理事長 宮田律氏も可能性はある。

パスポートを持っていないわけですから、どういう人物かも特定できない。欧州から一度、IS(イスラム国)に入ったメンバーが再び欧州へ戻ってくることも考えられますと述べておられます。

また、武器は欧州国内では簡単に現地調達でき、いろんな密輸ルートあり、戦闘員がそれらを手に入れたら、テロを起こす可能性あり、あと、1、2か月で何か起こるかもしれません。もはや事態は“中東の危機”でなく“欧州の危機”と言っていいでしょう(宮田律氏)

アメリカはテロの脅威を熟知しているので、シリア難民の数は極端に少ない。 今日(12日)の新聞情報によりますと 16年会計年度に1万人受け入れをオバマ大統領が指示したとの記事が出ていました。

日本も来週ぐらいには 何らかのコメントが出てくるかもしれません？

欧州で 今回 トルコの海岸にシリア難民の男児の遺体が打ち上げられた写真をきっかけに、難民受け入れの機運が高まった。もちろん難民支援は国際的に大切なことだが、今回は大きな危険と隣り合わせになっているのが現状のようである。

では また 9月12日記 木場 祥雄



木場さんからの第3報 大石さんこんばんは

ご存じとは思いますが 今回のシリア難民問題は シリアだけではなく 中東周辺国の難民、移民受け入れ問題で 難民登録を受けた人は シリアだけで 250万人いるといわれ、ユニセフ(国連児童基金)によると、内線前は「中東の教育大国」と呼ばれたシリアの学齢期の子供 480万人のうち国内で220万人、周辺国で 50万人が学校に通えていないという。

アラブの春

なぜ、ここまで 多くの難民ができたかと言えば、2010年から2012年にかけてアラブ世界に発生した、アラブの春 前例のない大規模反政府デモを主とした騒乱の総称である。この民主化運動がうまく行っていないことに起因していると思います。民主化政権が確立されていない。

2010年12月18日に始まったチュニジアのジャスミン革命から、アラブ世界に波及した。

現政権に対する抗議・デモ活動はその他の地域にも広がりを見せており、アラブの春の事象の一部にも含む場合がある。エジプト、チュニジア、イエメン、バーレン、シリア、リビアと広がりを見せ、2013年み入っても続いた。

*アラブの春 “Arab Spring”という言葉自体は2005年前後から一部で使用されていたものである。

一方で、2012年に入ると政権打倒が実現したエジプトやリビアでも国内の対立や衝突が起きるなど民主化に綻びがみられはじめた。

また、遅れて反政府デモが盛り上がりを見せたシリアでは泥沼の内戦状態にと突入し、国内のスニ派とシーア派の対立やアルカイダ系の介入などによる火種が周辺国にも影響を及ぼす恐れが懸念されるようになった。

そして2014年には、元アルカイダ系のイスラーム過激派組織「ISIL」がシリアとイラクの国境をまたぎ台頭するなど、地域情勢は深刻な事態に陥っている。

シリアアサド政権に国内反政府軍を撲滅を期待したが うまくできなかった。アメリカは当初 アサド政権打倒を掲げてきたオバマ政権は当面アサド政権の存続を容認する方針に転じた。

アサド政権下にあるシリア政府軍が同国内を拠点とするイスラーム教スニ派過激組織「イスラム国」(IS)に打撃を与えること期待したものの、自国民に化学兵器を使ったとして国際的避難を浴びてきた同政権を延命させることに対して批判が高まる可能性がある。

アサド政権の後ろ盾であるロシアは最近、同政権と一部反体制派を仲介し、モスクワで和平協議を開き、シリアの主権と統一を維持し外国の干渉を防ぐとする「モスクワ諸原則」で合意した。

シリアは 反政府軍と政府軍の戦いにイスラム国(ISIL)が加わった三つ巴になっています。

また、イラク北部の独立勢力である「クルド人」はイスラム国(ISIL)との戦いで、兵力を増強した。

今のところはイスラム国(ISIL)がアメリカを中心とする多国籍軍から空爆を受けている影響で、イスラム国(ISIL)の拡大は止まっているといわれるが本当のところはわかりませんか？

シリアのアサド政権とアメリカのオバマ政権も認め合ったようですし、今後も中東情勢は流動的に動きそうです。

他方、ロシアのシリア政権への支援も気がかりとなって来ています。

いずれにしろ、アメリカが中途半端な中東政策、世界の警察みたいこと もう オバマ政権では できないようです。
共和党政権になれば 武力で制圧することも考えられますが そうなれば なったで また 新しい問題が起こってでしょう。

いずれにしろ 泥沼状態で解決の道は ほど遠いと思われ、避難民 移民 規模が大きいだけにどこかの国が受け入れるにしても また 受け入れた国内でのテロの危機が危惧されます。

大変な世の中になっていくような感じします。

国連も同じく 世界をうまく 納めていくようなことは期待できません。

日本は アメリカに協力して 積極的平和主義を…なんていって 安保法制成立に向け 躍起となっていますが

日本の将来は どんな世の中になるでしょうか？ 不安になってきています。以上

9月12日記 木場 祥雄



●木場くんこんにちは。大石です。

第三報読みました。

今週、協会雑事で店を空けることが多くてパソコンの前に座れません。返信が遅くなってすみません。

シリア難民とひとくちにはくれない中東情勢があるのですね。

難民側の事情、受け入れる国々の事情、世界の警察？の事情、共産圏(と言ってもそれぞれ事情が違う)の思惑、組織としての国連や EU 連合の統一政策は？とこの問題は「なぜドイツだけが受け入れに優しいのか？」その真実と実情「あなたの考えは？」

そんな軽い問題ではないということがよく分かって来ました。今後の世界の動きが注目されますね。

又興味深い御意見をお聞かせください。

ひとこと

今度の敬老の日に森氏の母上が県知事の表敬を受ける(テレビ、新聞取材)そうで家や庭の掃除で大変だそうです。



●大石さんこんばんは

今晚のNHKニュースで ドイツは 余りにも シリアなどからの避難民の増加で オーストリアとの国境で入国検査を導入すると発表したと流されました。

ドイツのデメジエール内相は、「ドイツ国内の難民受け入れ施設が限界に達している」して、今後、難民の流入を制限為ためオーストリアとの国境での入国審査を導入すると発表した。

ドイツ国民も好意的であるが、こんなに急激な増加流入対し 首相の政策に疑問視する意見も出てきているらしい。毎日の流入する難民受け入れは 国内50州に分散して収容しているような状況である。

さて、あなたよりの問い合わせ ドイツは なぜ 避難民受け入れに 優しいのか？ということに移ります。

私も 詳しく 知りませんでしたので 調べてみました。

理由は 二つあるようです。

一つ目の理由は、純粹に人道的な理由である。ドイツは、第2次世界大戦において自国が犯した罪の反省から、憲法により積極的な難民保護を掲げている。

二つ目の理由は、日本と同じく、ドイツが世界で最も少子化が進んでいる国の一つであるという点である。

深刻さを増す労働力不足を解消するため、難民を労働力として取り込みたい思惑がある。

だが、もちろんドイツの中にでも、難民受け入れに対する反対運動や、ネオナチによる難民収容施設への放火など排斥運動があることも確かだ。

しかしながら、大多数のドイツ人は難民へに支援に積極的で、ネオナチに向かう若者も多く存在することである。

ドイツは 一流の国家としての動きをとっているように思われます。日本にとって 考えさせられる点があるような気がしますが…。

木場 祥雄



●大石様おはようございます。

9/14 朝羽田着。午前中に帰宅し少し寝ました。

復路は、太陽と反対に西から東へ向かう時差のせいかボケが抜けないまま、本日 9/15 夜半 3 時前(ドイツの夕食時)にお腹が空いて、バナナでごまかしてもなかなか寝付けず、滞在中でその後書き留めたいドイツの事柄(過半は草稿ができていた続編)を一応綴り終えましたので、ここに送りますのでご笑納方、お運びいただければ幸いです。

それと、先に貴兄からのボール「IS 難民、ドイツの立場」も簡略ながらですが一緒に送ります。 中間



●IS 難民、ドイツの立場

中間一範

Mr.Ohishi からあったその後のストレートボールを再キャッチ。返球をコピーを交えて記してみます。

難民は、政治的迫害、武力紛争、人権侵害、経済的困窮、宗教的・思想的弾圧などから逃れるために、国境を越え、他国に庇護を求めた人々である。

IS 難民は、シリア・アラブ共和国など戦闘地域、あるいは内乱地域から来た、即ち、安全ではない国から来た人々であり、寛大な難民保護政策を取るドイツでは、難民庇護申請すれば間違いなく留まることができ、申請者の 4 人に 1 人は IS 難民であると云われる。

統計によると、2013 年末時点での世界の難民数は、約 5120 万人。前年比で約 600 万人も増えていることになり、この要因はシリア内戦の影響が大きいとされ、2013 年の難民庇護申請件数は、約 110 万件で、ドイツでは 20 万人を超える申請者数があり、申請中の滞在費受給可もあり、国別では最も多い。

新聞記事によると、深刻化するシリア内戦の影響を受け、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) は、2015～16 年に 10 万人のシリア難民を各国で受け入れるよう呼び掛けていて、ドイツはすでに数万人規模の受け入れを決め、さらに 2014 年 10 月末、ベルリンで開催されたシリア難民国際会議において、2015 年からの 3 年間に約 5 億ユーロの経済支援を約束した。ちなみに、2011 年にシリア内戦が起きて以来、ドイツはすでに約 6 億 5000 ユーロを拠出している。

難民増加の背景には、人間としての尊厳が危機に瀕している地域が世界中で増加している現状。根本的な解決策は、全ての内戦を平和的に解決することが理想とするものの、実際は思想、宗教、歴史などややこしさが絡み難しい終結が見えない人戦問題である。



●中間くんお帰りなさい、

この自然災害の宝庫・ニッポンへ。早速、西の雄・阿蘇山が貴兄の帰りに祝砲を2000mも打ちあげました。さて、「ドイツもそろそろ難民に音をあげそう」ですね—新聞報道ですが今回の『行ってみなきゃ分からないドイツ』続編は今までと少し変わった内容のようですね。

想像が高まりドイツの地に立った気持ちで読めますね。

早めに、『討論サイト』とは別の第3部で取り上げようと思います。

しばらく不在の分のニッポンを復習して下さい。 大石



●中間 様

おはようございます。

ご無沙汰しております。

表記 「行ってみなけりゃわからないドイツ」続編 が 大石さんより 転送されてきました。

簡潔にして ドイツの事情よくわかるレポートです。文章 うまく書いておられますね。

まず、時差ぼけの件 人間は 夜に強い傾向有り 西への移動は 夜更かしと同じで時差もあまり感じないのですが 東へ戻ってくるような時の時差調整は難しかったこと覚えています。(日本→ヨーロッパ)私も 1970年代に ドイツ フランクフルト、デュッセルドルフに数回ビジネス出張でことあり、他の国で ドイツ人系の家に招かれた時 ソーセージが主体だったこと?も

覚えています。食文化は 日本の方が数段上 山の幸、海の幸などなど いろいろな国の食べ物をいただくことが出来、幸せに思わなくてはなりません。

今回の中東諸国 とりわけ シリア難民の件 大石さんからも メールが入っていたようですね。

ドイツは 好意的に受け入れていますが大変な数字の人々が押し寄せてくるようですね。

昨日は あまりの多さにハンガリーは入国制限するようなことも 新聞に出ていました。

いま、入国審査 難民が 移民かチェックできないような状況で 入国しておりますがこの中に IS国からの戦士が含まれていないか 心配のようです。もし、入ってきていたとせれば 近い将来 ヨーロッパ内での行為が懸念されます。

以上 貴兄の素晴らしいレポート読ませていただき 連絡 御礼までまた よろしく 季節の変わり目 お体



に気を付けてお過ごしください。

木場 祥雄

●ドイツは、なぜ難民を歓迎するのか？

今年9月8日、ハンブルグで、FCセント・パウリ対ボルシア・ドルトムントのサッカー・テスト・マッチで、「大声で、はっきりと、ここへの難民を歓迎；SAY IT LOUD, SAY IT CLEAR. REFUGEES ARE WELCOME HERE！」と書かれた大きな横断幕が掲げられた。ドイツは、多数の難民を歓迎し、大きなチャンスだと感じている。

ドイツの人口8,100万人は急速に高齢化し、出生率は低く(ドイツ1.38、日本1.43：2013年)、総人口は横ばい、何百もの学校が閉鎖されている。特に東部地区ではゴーストタウンが増えている。労働者不足が

深刻な問題で、移民・難民の増加は記録的になっている。

アンゲラ・メルケル首相は、ドイツという国の在り方が転換し大きく変化すると言っている。イスラム・テロを警戒する声もあるが、メルケル首相は、新しい移民・難民について、「彼らはドイツ語を学び、大急ぎで仕事を探さなければならない。彼らの多くは、ドイツの新しい市民になる。よりよく世話をすれば、リスクよりも多くのチャンスをもたらすことになる」と言った。

産業界のリーダーたちも、労働年齢の移民・難民の大量移住を歓迎している。ドイツのいくつかの大学では、難民に無料講座を開設している。政府は移民・難民の子供と成人を対象に、ドイツ語教室を開設している。ドイツの失業率は、ヨーロッパで最低の4.9%。ちなみに、イギリス5.4%、フランス10.1%、スペイン22.6%、日本3.2%（IMF調べ）特にシリアからの難民には、医者・技術者・建築家など、教育レベルが高い熟練者が多いために歓迎されている。

ドイツの移民・難民を歓迎する状況は、ギリシャ、イタリア、スペインなど経済が低迷している地域、さらには、イスラエルやインドの人々にとって、新しい「希望の土地：promised land」になりつつある。

今やドイツは、最も移住したい国として、カナダと英国を抜いて、米国に次ぐ、2番目の国になっている。しかし、だれもが歓迎しているわけではなく、難民センターへの放火騒ぎも起きている。

ドイツが多数の難民を受け入れて、さらに経済力を強化することをフランスや英国はこころよく思うであろうかという疑問がある。

1960年代から1970年代にかけて、トルコからドイツにやってきた人々は、いまだに彼らだけのコミュニティに閉じこもっている。全面的なドイツ社会への溶け込み、文化変容には幾世代かを経なければならないかもしれない。

1970年代のドイツでは、外国人労働者が全体の20%を構成するまでになり、彼らの存在が社会問題になった。そのため、トルコ出身者を母国に送還するために、トルコ語を話せない子どもたちにトルコ語教育を行い、バスをしたてて、親子ともども送り返した。おそらく、なにがしかの帰国支度金も渡したと思われる。

1980年4月に訪れたフランクフルトは繁栄していたが、治安がよいとは感じられず、外国人労働者が増えるとは、このようなことかという印象を受けた。その際、同行者がホテル内で朝食後、中東移民と思われる者に、例のホットコーヒー（ココア）を背中にかけて、注意されて脱いだ上着からパスポートを抜かれた。私もホットコーヒーをかけられていたが、そのときは気付かず上着を脱がずに難を逃れた。

そのことを警察署に行って届けると、外国人登録事務所に行けと言われた。で行くと、そこには滞在延長を申請する外国人が溢れていた。結局、幸いにも宿泊していたホテルの別館に日本公使館があり、そこでパスポートの再発行を受けた。

ハンガリーは、ドイツ、オーストリア、スウェーデンなど難民の数の多さに処理に窮して、急遽、国境に高さ4メートル、催涙ガスや放水銃で追い払い始めた。



北へ向かう移民・トルのフェンスを

クロアチアは、彼らに救い手を差し伸べた。移民・難民は、クロアチアからの通過を目指して移動した。しかし、そこでもすぐに行く手を遮られた。

移住先としてのドイツ 広く感謝されているわけではないが、現在、ドイツは世界で最も人気が高い移住先の1つである。現在、ドイツの人口約 8,100 万人の内約 1,100 万人、つまり 8 人に 1 人が外国生まれ。労働人口では 7 人に 1 人、移民のルーツを持つのは 5 人に 1 人。

(難民を含む) 移民居住者が多いのは、ベルリン、ハンブルグ、ミュンヘン、ケルン、フランクフルトなどの都市で、旧東ドイツには少ない。

ドイツの移民比率はヨーロッパで最も高い。ドイツへの移民の 3 分の 2 以上が別のヨーロッパ諸国からで、EU 国内からは 36.6%。最も多い出身国はトルコで外国人の 13% を構成。次いでポーランド 11%、ロシア 9%。これらにカザフスタン 7%、ルーマニア 4%、イタリア 4% が続いている。

初期の外国人労働者は、ギリシャ、スペイン、トルコからやって来て定住した。彼らの子供たちは、幅広い職業のチャンスを求めた。今日では、公務員やメディアを含めて、いろいろな職種に就いている。ヘルスケア、エンジニア、IT (情報テクノロジー)、その他の商業および技術分野での雇用は増加傾向にある。また、自営業者も多く、現在、その数は 70 万人を越えている。

混乱する国境の町

オーストリアから列車でドイツへ入国した移民・難民が、最初に訪れる町は、整然とした家並み、窓からアルプス山脈が見える田舎町のフライラッシング (Freilassing) である。数日間で、この町の人口約 15,000 人と同数の移民・難民が通過した。

この町の治安は、メルケル首相の難化した。窃盗や強盗、その他のトラブに拳銃を持ち、ショットガンを購入し

移民・難民の流入を公然と批判するのレッテルを貼られるため公言できな

それでも無料コーヒーの提供などのが、あまりにも数が多すぎて手に負えないと言う。



民歓迎の声明で悪ルが起こり、護身用た人もいるという。と、極右かネオナチいという。

手助けを行っている

<http://www.gettyimages.fr/detail/photo-d'actualit%C3%A9/german-policeman-attempts-to-manage-migrant-s-who-had-photo-d'actualit%C3%A9/488454796>

「難民の割当計画」ニュース 2015/9/18 欧州議会、難民の割当計画を承認 =

「加盟各国は今こそ行動すべき」

中東やアフリカからギリシャとハンガリー、イタリアに到着した難民 12 万人の欧州連合(EU)域内への移住に向け加盟各国の割当数を決める計画をめぐり、欧州議会は 17 日に緊急採決を実施し、372 対 124 の賛成多数で承認した。一部の加盟国はなお反対しているが、これにより採択への圧力が高まった格好だ。

欧州委員会は9日にこの計画を提案。ギリシャに滞在する難民5万400人とハンガリーの5万4,000人、イタリアの1万5,600人を合わせた12万人を対象に、加盟各国への移住を進める計画だ。割当数は各国の人口や国内総生産(GDP)、過去の難民申請件数、失業率から算出しており、最も多いドイツで3万1,443人、フランスが2万4,031人などとなっている。受け入れ国には難民1人につき6,000ユーロがEUから支給される。

EU加盟国は14日の臨時内相会議でこの計画について協議したものの、承認には至らなかった。通常、欧州委の提案は、加盟国が承認してから欧州議会で採決が行われるが、今回は議会在先行して承認する異例の事態となった。欧州議会は、欧州委の提案内容を修正せずそのまま承認している。欧州委のフランス・ティメルマンズ第1副委員長はこれに謝意を表するとともに、「欧州議会による承認は今こそ行動するべき時だ」というメッセージを加盟各国の閣僚に送るものだ」と話した。加盟国の大半は割当数の受け入れに前向きだが、ハンガリー、スロバキア、ルーマニア、ポーランド、チェコは反対している。中でもハンガリーは割当を拒否するだけでなく、自国内にいる難民を域内移住の対象とすることも辞退するとしている。

加盟国は22日に再度、臨時内相会議を開く予定。

独移民当局の局長が辞任

ドイツの連邦移民・難民局のトップが辞任した。同局は難民申請の処理が滞っているとして国内で批判を浴びていた。内務省の発表を元に、各紙が17日伝えた。

同局のマンフレート・シュミット局長は、一身上の都合で辞任したとされている。連邦移民・難民局に対しては、難民申請件数の見通しが甘かったことが25万件もの申請処理の滞りを招いたとの批判があった。同局は8月、欧州連合(EU)域内入りしたシリアからの難民を無制限に受け入れる方針を打ち出したが、その後難民の流入数が急増した。[EU規制]

大手ダイムラー社が難民歓迎の意向

一方(フランクフルト 9月16日 日本報道抜粋)ドイツ自動車大手ダイムラーのツェツェ社社長は15日、時事通信などのインタビューに応じ、今年だけで80万人に上ると見込まれる中東からのドイツへの難民について、ドイツで進む少子高齢化の解決策になるとして、歓迎する意向を表明した。



●受け入れると言う国があれば受け入れないと言う国がある。取りまとめる側は『お互い事情はあると思いますが助けてあげましょう。』と割り当ての調整に乗り出すけどなかなか進展しない。

難民たちはなんとか『快く受け入れてくれそうな国』をめざして死に物狂いでその国をめざそうとする。途中にはハンガリーと云う難関な関所がある。



● 大石さん

9月21日

こんばんは

IS難民問題 大変なことになってきてます。

なにしろ 難民、周辺国からの移民を含め 400万人ともいわれ これらを ヨーロッパ諸国で受け入れることが できるかという ドイツが頑張っても 受け入れ消化できるような数字ではありません。

難しい問題とは と思いますが シリア国内をなんとか平静化するということを国連が主体となって解決の糸口を見つけることに努力を期待したいと思いますが シリア国内は アサド政府軍、反政府（アメリカ、ヨーロッパ イギリス、フランスなど 支援）、ISと 三つ巴の国内戦となっており、政府軍には

ロシアが支援するといった 複雑な状況にあり、元は・・・と言えば アメリカの中途半端な政策に起因しております。アメリカは 世界の警察といった機能は オバマ政権は 放棄したような状況で アメリカの

若者を これ以上 戦争に巻き込むことに消極的な状況にあります。共和党が政権を取り返したら 攻撃的になっていくかもしれません。オバマ大統領は 頭が賢いために 優柔不断なところがあり 決断力に問題あり シリア対応が 後手後手になり 今の状況を作り出したと言われております。

ISも もとはと言えば イラク 反政府軍支援の武器が アルカイダにわたり 強力な組織を作り上げた

いまや アラブ対アメリカといった状況の中で 今回の日本の安保法制 集団的自衛権行使？といったことで アメリカに協力度を増していくことが懸念されます。

アフガニスタン ペシャワールで活動されているNGO団体 長年にわたり 灌漑用水など携わっておられる方が 今回の件で 安全は一層危険度が 増してくるのでないか 活動の継続？も考えねばならないと話しておられます。

難民に対する日本の対応は まだ 出てきてないようですね？

木場 祥雄



●大石さんおはようございます。

昨日 シリア難民 受け入れ問題のメール返信の中で アフガニスタンで活躍されているNGO団体 ペシャワール会

の件 この会の代表者は 中村さんという 九州 福岡で 医者をされており 20年以上？このNGO活動に携わって

おられ アフガニスタン パキスタンで 灌漑用水路建設に携わり、現地の人々から 尊敬されておられます。

この活動内容は ブログでも 見れます。 ”ペシャワール会”を入れて貰えば もっと活動内容がわかります。何回か 過激な組織に 襲われたこともあるようです。

日本のNGO、NPO活動に対し 好意的でありましたが 今後は 危険が増すことが懸念される?とか話しておられました。

また、現地へ 行かれるようなことも 話しておられました。

もう 10年?ぐらい前になりますか 生駒でこの方の講演会あり 私も聞いたことがあります。

日本で 医者をしながら 稼いだ金を この活動につぎ込んでいると話もされていました。今は NGOなので 政府など?から

支援受けておられるかもしれません。 もう ずいぶん 長いこと活動されています。

以上 木場 祥雄



●大石 さあ、ついにアメリカが声をあげた。

本音は?受け入れ条件は?中東からの入国にきびしい (テロ防備) アメリカが。

今後のニュースに注目します。果たしてケリー氏が言うように

「アメリカは自由を求める者の安息の地」なのか?真に自由を奪った者たちは誰なのか?

ところで集団的自衛権でアメリカに追従する安倍内閣の出方は如何に?

疑問は尽きない。イヤ、興味は尽きない。



●西山和宏 たまには世界を眺めて見よう。

真に自由を奪った者たちは誰なのか?

奪われた者たちにも罪があると言うのは酷だが、あまり心から同情する人も国もない。

集団的自衛権という表現は言葉の綾で単なる軍事同盟です。

同盟国が攻められても攻めていってもその戦争に参加するというものです。

ロシアは、北方領土を返す気はサラサラありません。

経済協力という表現で、お金を引き出すために

日本側が勝手に返還交渉の可能性ありと思っているだけ、拉致問題と同じです。

70年前、日本は米英などの和平交渉をソ連に依頼した。

その時、スターリンはヤルタで8月中旬には、

南 日 本 新

難民10万人受け入れ

米ケリー長官表明、独歓迎

【ベルリン共同】ケリーのベルリンで、シュライマー米務長官は20日、内戦が続くシリアなどから難民や移民が欧州に押し寄せていることを受け、世界から受け入れる難民の人数を段階的に増やし、2017会計年度(16年10月~17年9月)には10万人の受け入れを目指す」と表明した。ドイツは「ケリー氏は「米国は戦争で追われた者や、自由を求める者の安息の地だ。もつとやらなければならぬ」と強調。難民問題に取り組む強い決意を示し、大量流入への対応に苦慮する欧州を支援する姿勢を見せた。

16年度の難民受け入れについては、15年度の約7万人から1万5千人増やして8万5千人にすると語り、「このうちシリア難民は最低でも1万人」と明らかにした。17年度にはさらに1万5千人を増やして10万人を目標にする」と付け加えた。

シュライマー氏は「米国の責任ある姿勢に感謝している。米国の受け入れ人数が増えることを歓迎する」と述べた。

【ウィーン共同】欧州に難民や移民が大量流入している問題で、オーストリア内務省は21日、同国にハンガリーとスロベニアから19、20両日で計約2万3700人が入国したことを明らかにした。21日も午前中だけで3千人以上がハンガリーから流入した。オーストリアは国境にも



ケリー米務長官(左)と話すドイツのシュライマー外相
=20日、ベルリン(ゲッティ=共同)

日本攻撃を米英に約束し、原爆投下が、
日本降伏の前に大急ぎで満州へ進撃を開始した。
北方領土に侵攻したのは、日本のポツダム宣言後、つまり、日本が武器解除し恭順の意を現した後であった。武器解除し恭順の意を現している相手に攻撃を加えるのは、国際的に非道とされている。

シリア難民の映像を観て、日本もなにかすべきだとあまり考えない方がよい。
外交能力も国際感覚もない偉い人が動いてもお金を取られるだけで感謝も尊敬もされることはありません。
受け入れるのも、受け入れないのも国益のためです。
世界中の紛争は、つまるところ米国とロシアが本気で乗り出さないと解決しません。
長くなりそうなので、ここでやめます。

西山 和宏



●八期ギャルより

お孫の相手に温泉で保養なんて優雅なものです。目の疲れがあるそうですが白内障の手術しました？眼科で調べてもらったらいかがでしょうか。いろいろと出てくる年です。

-アメリカンショートヘアは賢くてすばしっこい人気のある猫ちゃんです。体の紋様が左右対象になっています。椅子に座った私の腰を舐めたりとたたいてそこといてとやるし、自分がすわるの。まるでトノです。ご飯が欲しいなど一言もしゃべらずこちらに伝えてくれるので助かります。

ミックスもいますがただ鳴くだけです。-難民のこと関心ありますよ。難民を作ったのは元々アメリカじゃないでしょうか。イラクを攻めぶち壊しアフガニスタンを攻めソビエトを作り上げて挙げ句の果てはイスラム国を作ったわけですよ…私は頭が痛くなるような討論は苦手です。それにネットはやってないし〜ね。

ヨーロッパだけに押し付けないで！アメリカは難民にたいする責任取るべし!!日本もアメリカにくっついてたら大変なことになるんじゃないかしら？どう思いますか!?!-----



●クマタツよりこんにちは！

最近は何をすともなく、無為な日を過ごしているような気がします。そしてもう10月です。これも歳のせいでしょうか。

とは言っても、コーラスで国民文化祭など10月、11月で5つのステージが控えておりこうもしておられないのが実情です。

ところで、難民問題は国際的にも日々動きがあり、まだまだ先が見えない状況が続いています。

いや、むしろこれだけの問題ですからすぐに決着がつくと思う方が間違いでしょう。

その中で、安部総理が国連で難民問題を取り上げて、その中で970億円の援助の用意があることを持ち出しています。

私は単純な考えですが、この金銭による援助にいつも疑問を感じています。

これまでも長年にわたる ODA や、湾岸戦争における他国籍軍への 1 兆円を遥かにこえる資金拠出など日本自体が先の見えないような泥沼の経済状態の中でのこのようなことが国民に理解されているのか不思議に思っています。

外務省のホームページには、ODA について「国際協調主義に基づく『積極的平和主義』の実践なのです」とあり、国際的に援助することが我が国の発展にもつながるなど一見すれば、もっともらしいことが書いてあります。これも一理あるでしょうが、もっと自分の国の将来や子供や孫たちの世代のことを考えて欲しいものです。

また国連の演説後の記者会見では、日本として難民の受け入れの可能性問われて、日本としては難民を受け入れる前にやるべきことがある。それは女性の活躍であり、高齢者の活躍であり、出生率を上げるための打つ手である。そして受け入れることよりも、そのような土壌を変えることに日本は努力したいという趣旨のことを答えています。

これも間違いではないと思うが、いつもの論理のすり替えであり、当面の現実からは逃げているようにしか思えてならないですね。

偏見と独断で最近の動きをと気持ちを書いてみました。

くまもとたつお